



第36回練馬区障害者通所施設合同運動会を開催

～1,000人で楽しむ！ 笑顔の運動会！～

と き 5月31日(土) 午前10時～午後3時30分

と ころ 区立南町小学校(練馬区練馬2-7-5)

31日、区立南町小学校で練馬区障害者通所施設合同運動会が開催された。区内16の通所施設の利用者約450人とその家族、職員、ボランティアなど総勢約1,000人が参加した。区内の自立支援施設が協力して主催しており、日頃の連携の成果として実行委員会を組織して行っている事業である。

当日は快晴の下、600人が参加したパン食い競争、大玉送り、綱引きといった競技が行われ、参加者たちはさわやかな汗を流した。

この運動会は、通所施設間の交流、障害のある方の社会参加等を目的に、区内にある民間や区立の通所施設から選出された実行委員が中心となって企画・運営を行っている。通所施設で働く利用者がスポーツを楽しみ、自立に備える心と体を養うことに役立っている。

50m走に出場したねりま第二事業所の相田洋介(あいだ ようすけ)さんは、「1位が取れてとてもうれしかった。」と笑顔で話してくれた。



パン食い競争の様子



50m走の様子

【練馬区障害者通所施設合同運動会の概要】

練馬区障害者通所施設合同運動会は、今年で36回目の実施。区内の民間や区立の16通所施設の利用者とその家族、施設職員が集まり、スポーツに親しむ貴重な機会となっており、交流の場にもなっている。毎年、参加者が1,000人を超える催しで、通所施設で働く利用者が毎年の開催を楽しみにしている行事である。

【当日の様子】

午前10時、5月のさわやかな天気の下、約450人の通所施設利用者が紅組と白組に分かれて整列し、開会式が行われた。選手を代表して、練馬区立大泉福祉作業所の高橋 育子(たかはし いくこ)さん、芳賀 由之(はが よしゆき)さん、伊藤 孝司(いとう こうじ)さんが元気よく選手宣誓をした。

午前中は、通所施設利用者をはじめ、保護者や来賓等、約600人が参加したパン食い競争、25m走や100m走、大玉送りといった競技が行われた。また、午後には、練馬区社会福祉協議会キャラクター「ネリー」が応援に駆けつけ、会場は笑顔に一つまれた。

実行委員会幹事長として参加した、大泉福祉作業所の八木 富士子(やぎ ふじこ)さんは、運動会への参加は今年で4回目。「ボランティア、実行委員と利用者みんなが楽しみながら行え、みんなの素敵な笑顔を見られて、とても感動した。」と話してくれた。

【問い合わせ】健康福祉事業本部 福祉部 障害者施策推進課 管理係 電話 03-5984-4598